

# 北海道の地域医療を支える救急搬送に関する検討会

平成26年10月22日

北海道開発局

## 1. 検討会の目的

北海道全体の救急出動件数は年々増加傾向にあり、地方部・都市部における救急搬送時間や通院時間などの諸課題に対する支援方策について、道路行政の観点から幅広い視点で検討を行うため、有識者、医療関係者、関係行政機関及び道路管理者で構成する検討会を発足。

## 2. 主な検討事項

### ▼ 地方部

- ・ 救急搬送及び通院時間の短縮に向けた支援方策（交通ネットワーク、追加IC等）
- ・ 大規模災害が想定される地域の救急搬送等のあり方（緊急輸送道路等）

### ▼ 都市部

- ・ 札幌近隣市町村からの救急搬送時間の短縮に向けた支援方策  
（道路交通環境改善等）

### ▼ ドクターヘリ運航支援

- ・ ドクターヘリの離着陸の支援方策（冬期ランデブーポイント増設等）

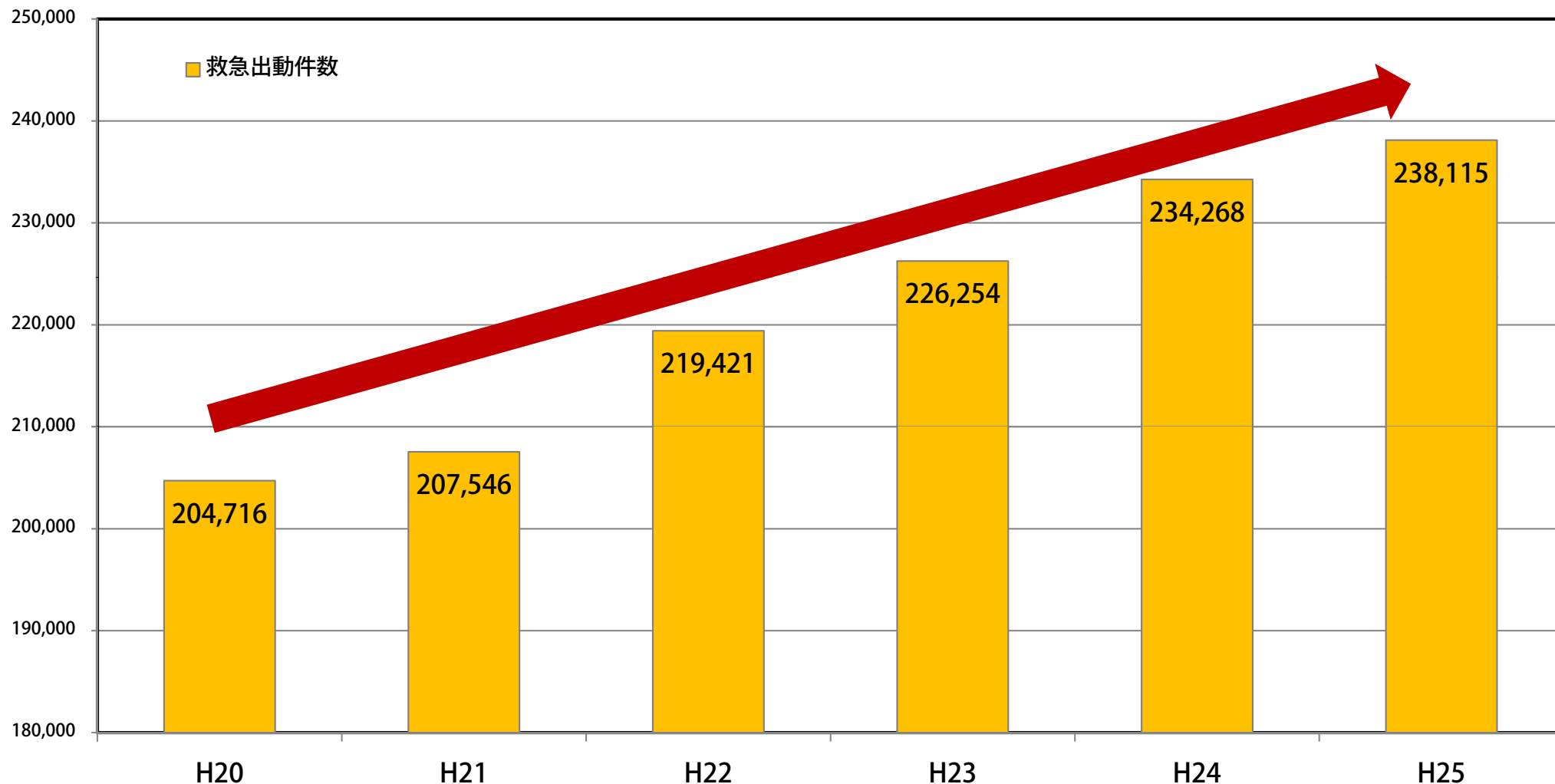
## 3. 検討会の構成

区分	氏名	所属等
有識者（座長）	岸 邦宏	北海道大学大学院工学研究院 准教授
医療関係者	小野寺 英雄	手稲溪仁会病院経営管理部 次長
	徳田 禎久	北海道病院協会 理事長
	成松 英智	札幌医科大学附属病院 高度救命救急センター センター長
関係機関	石井 安彦	北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課 医療参事
	関川 朋大	北海道警察本部交通部 交通規制課長
	中川 拓也	北海道警察本部交通部 交通企画課長
	菩提寺 浩	札幌市消防局警防部 救急課長
	松浦 英則	北海道総務部危機対策局危機対策課 消防担当課長
研究機関	高橋 尚人	独立行政法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 総括主任研究員
道路管理者	和泉 晶裕	国土交通省北海道開発局建設部 道路計画課長
	川崎 健史	東日本高速道路株式会社北海道支社 総合企画部 調査役
	川寄 裕二	東日本高速道路株式会社北海道支社 道路事業部 事業統括課長
	岸 純太郎	北海道建設部土木局 道路課長
	高屋敷 将也	札幌市市民まちづくり局総合交通計画部 交通計画課長

## 2) 道内の救急自動車による救急出動件数

- 北海道全体の救急自動車による救急出動件数は年々増加傾向
- 平成25年の救急出動件数は、平成20年の20万4千件から3万4千件増加して23万8千件

(単位：件)



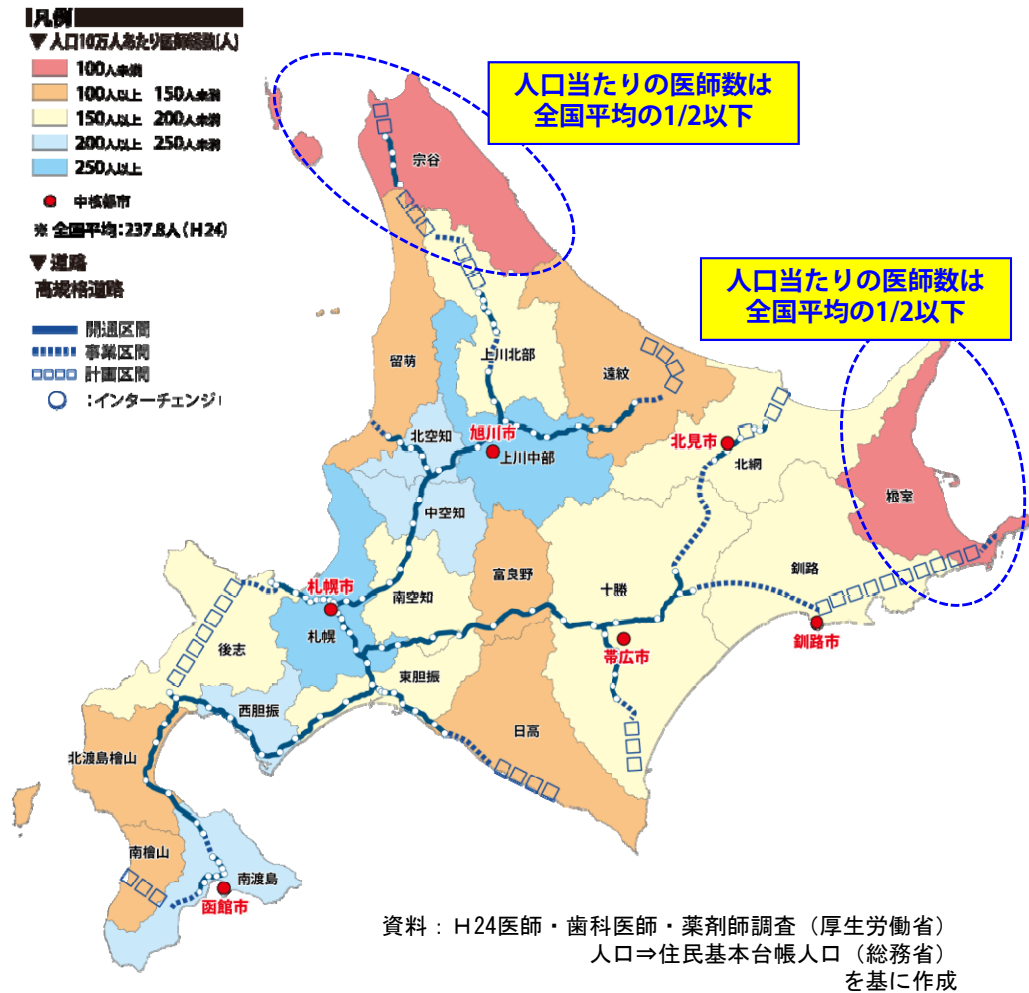
※ 救急出動件数 総務省消防庁の各年の「救急救助の現況」を基に作成

# 3) 地方部における医療の現状

## 1. 医師数

■ 人口10万人あたり医師数は全国平均(237.8人)以下の医療圏が多く、宗谷や根室は全国平均の2分の1以下と低い

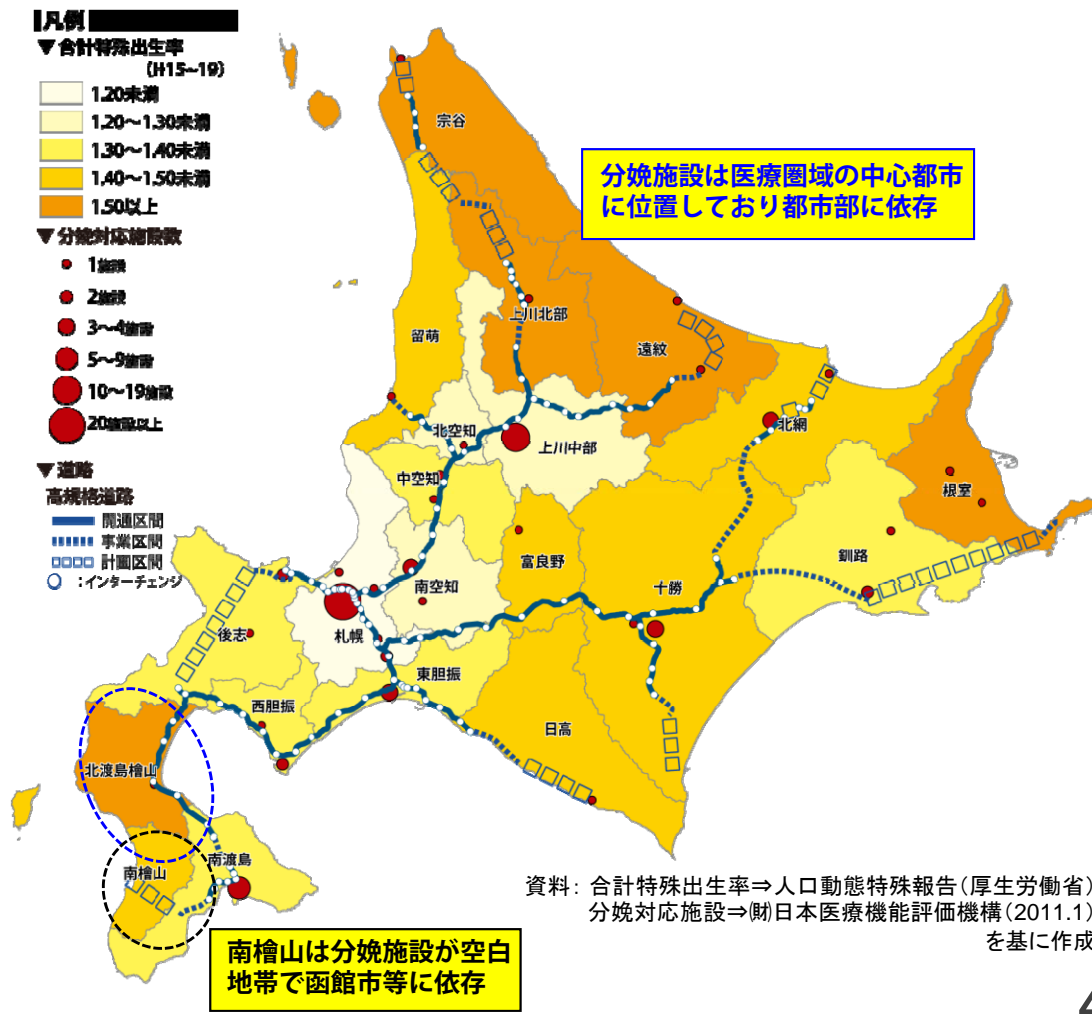
### ■ 人口10万人対医師数(H24)



## 2. 分娩施設

■ 地方部では分娩施設が少ないことから、通院等都市部に依存する必要性が生じている

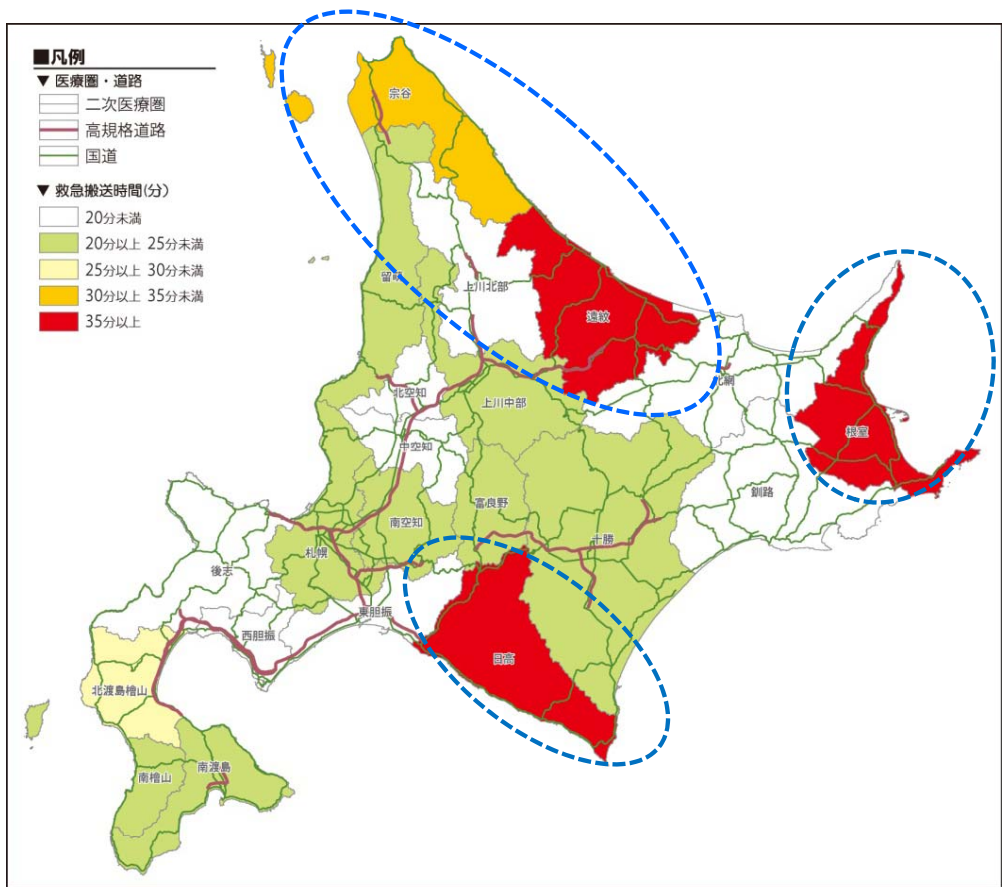
### ■ 出生率と分娩対応施設



# 3) 地方部における医療の現状

## 3. 二次医療圏別の救急搬送時間

■ 日高、宗谷、遠紋、根室の、二次医療圏域内に高次医療機関が少ない地域で、救急搬送時間が長い傾向

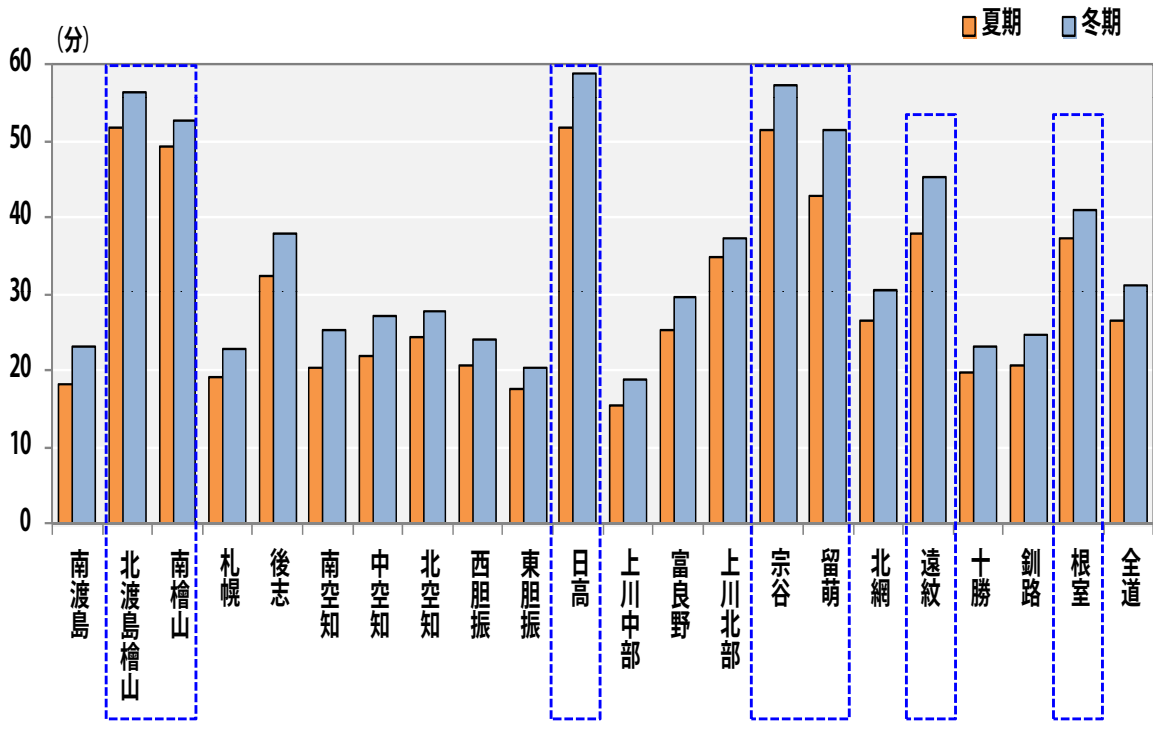


資料：H21北海道の救急搬送データを基に作成

## 4. 二次医療圏別の平均通院時間

■ 北渡島檜山、南檜山、日高、宗谷、留萌、遠紋、根室で平均通院時間が長い傾向

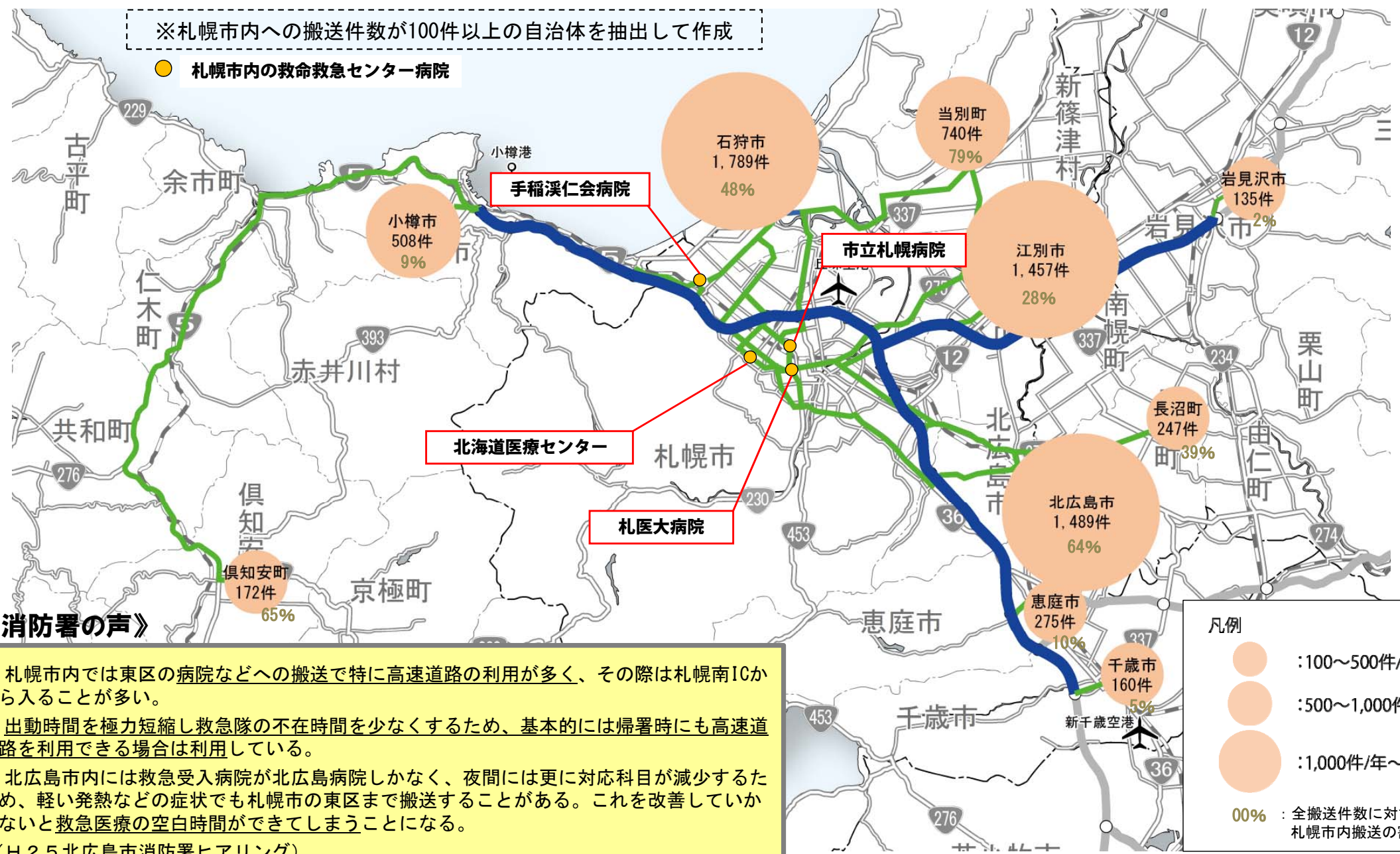
■ 全体的に夏期と比較して冬期の通院時間が増加する傾向



資料：地域医療WEBアンケート調査（北海道開発局） ※サンプル数N=2,906

# 4) 都市部の医療施設への依存状況

## 札幌市近隣自治体から札幌市内医療機関への救急搬送状況



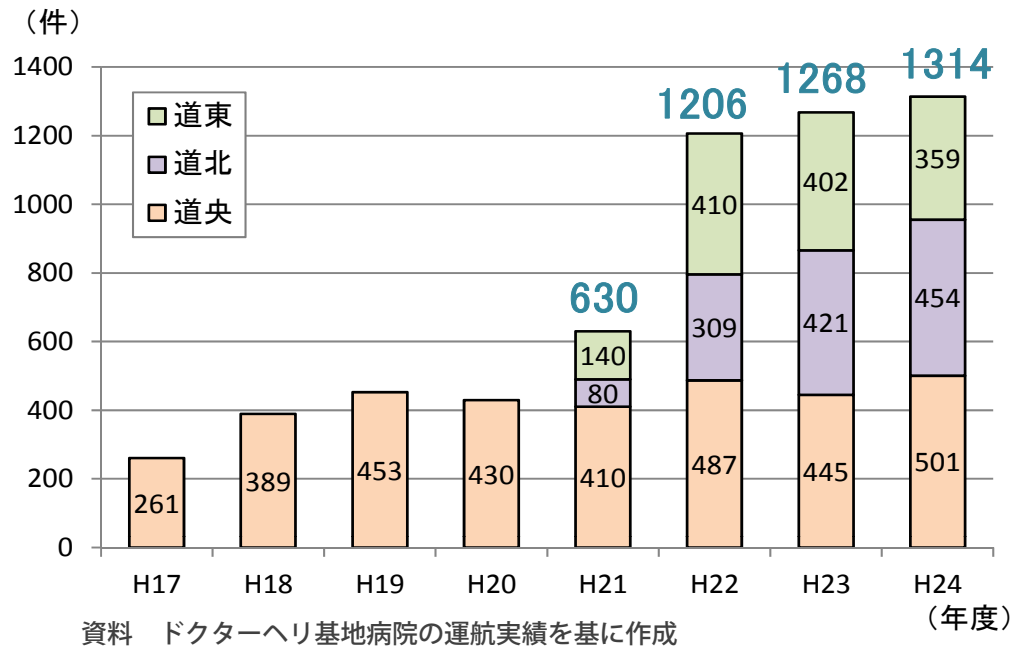
### 《消防署の声》

- ・札幌市内では東区の病院などへの搬送で特に高速道路の利用が多く、その際は札幌南ICから入ることが多い。
- ・出動時間を極力短縮し救急隊の不在時間を少なくするため、基本的には帰署時にも高速道路を利用できる場合は利用している。
- ・北広島市内には救急受入病院が北広島病院しかなく、夜間には更に対応科目が減少するため、軽い発熱などの症状でも札幌市の東区まで搬送することがある。これを改善しないと救急医療の空白時間ができてしまうことになる。

(H25北広島市消防署ヒアリング)

# 5) ドクターヘリの運航支援

## 1. 北海道のドクターヘリ出動件数推移



## 2. ドクターヘリの離着陸可能箇所数

項目	H23年4月	H26年4月	増加数
全箇所数	1,915箇所	2,081箇所※	166箇所
うち冬期箇所数	510箇所	604箇所※	94箇所
開発局道路施設	13箇所	51箇所	38箇所

資料 北海道開発局調べ

※現地の運用状況により箇所数が異なる場合がある。

## 【事例】ダイレクト方式による着陸 (H25年6月)

### ■ 概要図



写真提供：旭川赤十字病院

### ■ 消防署の声

ドクターヘリが**事故現場直近に着陸していなければ**、医師・看護師が救急車に乗り込めるまでに約**10分の遅れ**が出たと思われます

H25年8月 道北ドクターヘリ事例検討会より